



自衛隊栃木地方協力本部

百里基地航空祭見学！ ～航空機の祭典に将来の夢を乗せて～



地上滑走する戦闘機のパイロットに
夢中で手を振る見学者たち



一斉に空を見上げる見学者

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は12月17日（日）、募集対象者及び援護協力者等29名に対し、百里基地航空祭見学を実施した。百里基地へ向かうマイクロバスの中で参加者は、「今日を心待ちにしていました！たくさんの航空機を見られるのでワクワクしています」と興奮した様子で話していた。

百里基地へ到着すると、すでに多くの来場者で賑わいをみせており、展示エリアのエプロン地区ではF-2をはじめ多くの戦闘機やC-2などの固定翼、UH-60Jなど回転翼の航空機で埋め尽くされて圧巻であった。また、上空では戦闘機をはじめ、多くの航空機が飛行するなど、まさに航空機の祭典の名にふさわしい航空祭に参加者たちは忙しそうにそれぞれ目当ての航空機にカメラを向けていた。見学終了後、参加した高校生から「こんなにたくさんの航空機を見たのは初めてです！すごくかっこよかったです！将来航空機に携わる仕事がしてみたくなりました」と笑顔で話すなど、たくさんの方の参加者へ夢と憧れを抱いてもらった最高の見学となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。



様々な航空機が展示されていた
(UH-60J)



様々な航空機が展示されていた
(F-35A)



様々な航空機が展示されていた
(E-2C)



様々な航空機が展示されていた
(P-1)



低空飛行で上空を通過する戦闘機



航空機以外の装備品も
展示されていた。